



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

嘉手納町 教育委員会だより

令和7年6月発行 嘉手納町教育委員会



「OTV Live News イット！」で嘉手納中学校が紹介されました！（6月11日）

これからの時代に求められる力とは？ 生成 AI パイロット校の授業に密着！

●放送内容の概要

嘉手納中学校は文部科学省指定の生成 AI パイロット校として、AI を授業に積極的に導入し、個別最適な学びを実現しています。生徒は AI による英語の添削や発音チェックで学習効率を高め、教員は教材作成時間の短縮により、生徒と向き合う時間を増やしています。また、生徒は情報の真偽を見極める力も養っており、AI の情報を複数サイトで確認するなど、批判的思考を育んでいます。この取り組みは、生徒の学習意欲向上と教育現場の可能性拡大に貢献しています。



番組視聴はこちらから

企画展「嘉手納の沖縄戦」を開催しました！来場者は2週間で490人でした！

6月17日から29日まで、かでな未来館において、企画展「嘉手納の沖縄戦」を開催し、多くの方にご来場いただきました。かつて北谷村の一部であった嘉手納は、戦前、農業を基盤に栄え、賑わいを見せていました。しかし、アジア太平洋戦争の始まりとともに状況は一変。子どもたちの学童疎開や北部への避難が進む中、1945（昭和20）年にアメリカ軍が上陸し、嘉手納は激しい地上戦に巻き込まれました。戦争により町は焼け野原となり、多くの命が失われ、生き残った人々は戦時下の収容所生活を経験しました。終戦後も、町の約82%が嘉手納飛行場や嘉手納弾薬庫として接收され、住民は故郷を離れざるを得ませんでした。それでも、人々は力を合わせ、復興に尽力しました。本企画展では、沖縄戦の証言者の話を交え、嘉手納町の激動の歴史を写真や資料、映像で紹介しました。本企画展を通じて、嘉手納町のたどった歴史と、平和の尊さを改めて感じていただけたなら幸いです。



軽便鉄道・嘉手納駅



嘉手納大通り・商店街



嘉手納製糖工場



水釜海岸から上陸する米軍



沖縄県立農林学校の学生



収容所から始まった沖縄の戦後



米軍に押収された特攻兵器の「桜花」



米軍の飛行場建設

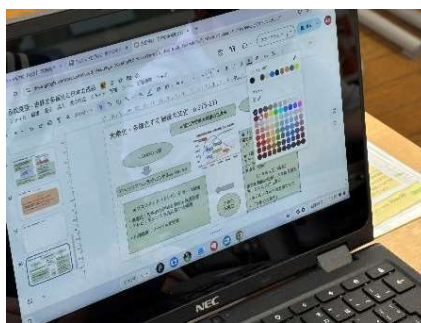


戦後の嘉手納ロータリー風景

嘉手納中学校を訪問しました！

●嘉手納中学校 【教育目標】 主体的に知性を高め、協働的に学び合い、未来を切り拓く生徒の育成

学校説明会の後の授業参観では、生徒たちが熱心に「探究学習」に取り組む様子を見ることができました。この探究学習では、一人でじっくり考え、友達と意見を交わし、先生からのアドバイスも受けながら、学びを深める多様な学び方が実践されていました。特に注目すべきは、一人ひとりのペースに合わせた学び方です。これにより、子どもたちは目の前の課題を自ら解決し、難しい問題にも粘り強く取り組むなど、自分から積極的に学ぶ姿が多数見られました。互いに教え合ったり、協力して課題を解決したりする姿は、生徒たちの学びへの高い意欲を示すものと言えるでしょう。教育委員会としては、子どもたちが主体的に学び、大きく成長できる教育環境の充実に引き続き取り組んでまいります。



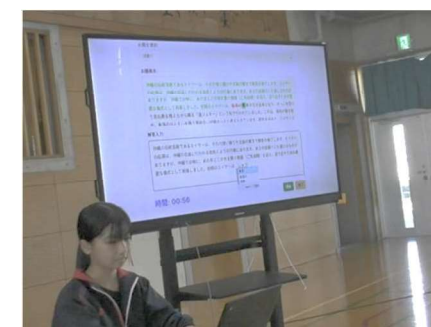
野國總管の偉業を学ぶ！屋良小学校「いも探究プロジェクト」始動

今年、嘉手納町の偉人、野國總管が中国から甘藷（イモ）の苗を持ち帰って 420 年の記念すべき年です。これを祝い、屋良小学校では、野國總管の功績とサツマイモの歴史を学ぶ「いも探究プロジェクト」に全校で取り組んでいます。このプロジェクトは、総合的な学習の時間（探究学習）を通して、子どもたちの郷土愛と地域貢献への意識を高めることを目的としています。6 月 20 日には、沖縄いもづくりの会・石川護さんのご協力のもと、苗の植え付けが行われました。石川さんからは、土づくりや畝づくり、そして実際の苗の植え付けについて丁寧な指導があり、子どもたちは「備瀬」「沖夢紫」「宮農 7 号」「読谷あかね」「ちゅらまる」「ニライむらさき」「紅つよし」「紅はるか」の 8 種類のサツマイモの苗を大切に植え付けました。このプロジェクトを通して、子どもたちが野國總管の偉業を胸に刻み、ふるさと嘉手納町への誇りを育んでいくことを期待しています。今後の活動にもぜひご注目ください！



嘉手納中学校タイピングコンテスト開催！情報社会で輝く力を育む

6 月 20 日、嘉手納中学校でタイピングコンテストが開催されました。「連覇します！」「リベンジします！」「優勝したいです！」——選手たちの力強い抱負が述べられ、会場は緊張感と熱気に包まれました。デジタル化が進む現代において、タイピングスキルは不可欠な能力です。嘉手納中学校が企画したこのコンテストは、生徒たちがタイピングの腕を磨き、自己効力感を高めるきっかけとなることが期待されます。コンテストは学級予選から始まり、学年予選、そして代表選へと駒を進めました。各学年の代表者 6 名が、日頃の練習の成果を存分に発揮し、その入力 of 正確さと速度を競い合いました。激戦の末、見事優勝に輝いたのは 1 年生の宮城璃愛さんです。おめでとうございます！今回の大会を通じて、生徒たちが情報化社会で活躍するための大切な一歩を踏み出せたことを大変喜ばしく思います。教育委員会としましては、これからも生徒たちの情報活用能力のさらなる向上を期待しています。



歌謡サークル小鳩が今年も人材育成会へ寄付

嘉手納町人材育成会では、歌謡サークル小鳩の新垣満保会長より、嘉手納町人材育成会事業資金として 50,000 円のご寄付をいただきました。歌謡サークル小鳩は、去る 5 月 25 日に、かでな文化センターにてチャリティ歌謡ショーを開催されました。この歌謡ショーの売上金の一部を、例年、嘉手納町の未来を担う子どもたちの育成のためにと、ご寄付いただいております。長年にわたる歌謡サークル小鳩の皆様の温かいご支援に、心より感謝申し上げます。いただいたご寄付は、嘉手納町の人材育成事業に大切に活用させていただきます。ありがとうございました！

嘉手納町親善ボウリング大会、大盛況！

6月13日、町民の皆さんの体力づくり、健康増進、そして生涯スポーツの普及を目的とした「嘉手納町親善ボウリング大会」が、エナジックボウル美浜（北谷町）で盛大に開催されました。当日の申し込みを含め、75名もの町民が参加し会場は熱気と活気に包まれました。参加者からは「とても楽しかった！ぜひこれからも継続して開催してほしい」といった声が多数寄せられ、大会は大成功のうちに幕を閉じました。今回の大会では、参加者の75%が20代から30代と、若い世代のボウリングへの関心の高さが伺えました。主催者としては、今回のアンケート結果を踏まえ、今後はさらに幅広い年齢層の方々にスポーツに親しむ機会を提供できるよう、より魅力的な企画を検討していきます。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！家族や友人などでチーム（3人）をつくれればだれでも参加できます。来年の開催に多くの町民が参加することを楽しみに待っています。



「学ぼう！育てよう！ハイビスカス！」東区講座で学びを深める

6月28日、嘉手納町東区コミュニティセンターにて、「学ぼう！育てよう！ハイビスカス！」と題した東区講座が開催されました。講座では、嘉手納町ハイビスカスを広める会、会長の島袋皎氏を講師にお招きし、ハイビスカスの奥深い世界について学びました。講座では、ハイビスカスの様々な種類や特徴の説明にはじまり、挿し木の仕方、日々の育て方や管理方法に至るまで、ハイビスカスを育てる上で役立つ知識が満載でした。参加された皆さんは、熱心に耳を傾け、メモを取るなど、大変有意義な時間を過ごされていました。この東区講座は、今年度から嘉手納町教育委員会が東区、中央区、北区の3つの行政区に社会教育指導員（各1名）を配置し、地域住民の皆さんに多様な学習機会を提供するために実施しているものです。町民一人ひとりの自主的な学習活動や生涯学習を支援し、豊かな学びの場を広げていくことを目指しています。嘉手納町教育委員会では、これからも皆さんの学びをサポートする様々な講座を企画してまいりますので、ぜひご期待ください。

